

JIS

光学素子及び光学システム用の製図手法— 第 6 部：偏心公差

JIS B 0090-6 : 2021
(ISO 10110-6 : 2015)
(JOIA/JSA)

令和 3 年 3 月 22 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	横浜国立大学
(委員)	秋山 進	株式会社デンソー (公益社団法人自動車技術会)
	安部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	市川 直樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊藤 弘	国立研究開発法人建築研究所
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	木村 一弘	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	木村 たま代	主婦連合会
	佐伯 誠治	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	寺家 克昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	千葉 光一	関西学院大学
	寺澤 富雄	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	中川 梓	一般財団法人日本規格協会
	奈良 広一	長野計器株式会社
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	久田 真	東北大学
	藤本 浩志	早稲田大学
	星川 安之	公益財団法人共用品推進機構
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	山田 陽滋	名古屋大学
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 13.3.20 改正：令和 3.3.22

官 報 掲 載 日：令和 3.3.22

原 案 作 成 者：日本光学工業協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3431-7073)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 偏心公差の規定	9
4.1 一般	9
4.2 個々の球面	9
4.3 個々の非球面	9
4.4 個々の円形シリンドリカル面	9
4.5 個々の非円形シリンドリカル面	9
4.6 個々の非対称面	9
4.7 光学素子及び部分組立品	9
4.8 接合光学組立品の接合剤くさび	10
4.9 光学機能をもたない面	10
4.10 視野絞り, 焦点板 (レチクル) など	10
5 図面上の表示	10
5.1 データム軸	10
5.2 データム点	10
5.3 偏心公差	10
5.4 位置	11
6 表示例	12
解 説	20

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本光学工業協会 (JOIA) 及び一般財団法人日本規格協会 (JSA) から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 0090-6:2001** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS B 0090 規格群 (光学素子及び光学システム用の製図手法) は、次に示す部で構成する。

- JIS B 0090-1** 第 1 部：通則
- JIS B 0090-2** 第 2 部：材料欠陥－応力複屈折
- JIS B 0090-3** 第 3 部：材料欠陥－泡及び異物
- JIS B 0090-4** 第 4 部：材料欠陥－不均一性及び脈理
- JIS B 0090-5** 第 5 部：表面形状公差
- JIS B 0090-6** 第 6 部：偏心公差
- JIS B 0090-7** 第 7 部：表面欠陥
- JIS B 0090-8** 第 8 部：表面性状 (粗さ及びうねり)
- JIS B 0090-9** 第 9 部：表面処理及びコーティング
- JIS B 0090-10** 第 10 部：光学素子及び接合部品のデータ表示表
- JIS B 0090-11** 第 11 部：公差表示のないデータ
- JIS B 0090-12** 第 12 部：非球面
- JIS B 0090-14** 第 14 部：波面形状公差
- JIS B 0090-17** 第 17 部：レーザ放射による損傷しきい値

光学素子及び光学システム用の製図手法— 第 6 部：偏心公差

Preparation of drawings for optical elements and systems— Part 6: Centring tolerances

序文

この規格は、2015 年に第 2 版として発行された ISO 10110-6 を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

1 適用範囲

JIS B 0090 規格群は、製造及び検査に使用する製図における、光学素子及び光学システムに対する設計上及び機能上の要求事項の表記方法について規定する。

この規格は、光学素子、部分組立品、及び組立品の偏心公差の指示方法について規定する。

この規格は、平面、回転対称な面、円形シリンドリカル面、非円形シリンドリカル面及び非対称面（一般面）に適用する。一般面については、ISO 10110-19 による。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 10110-6:2015, Optics and photonics—Preparation of drawings for optical elements and systems—Part 6: Centring tolerances (IDT)

なお、対応の程度を表す記号“IDT”は、ISO/IEC Guide 21-1 に基づき、“一致している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0021 製品の幾何特性仕様（GPS）—幾何公差表示方式—形状、姿勢、位置及び振れの公差表示方式

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 1101, Geometrical product specifications (GPS)—Geometrical tolerancing—Tolerances of form, orientation, location and run-out

JIS B 0022 幾何公差のためのデータム

注記 対応国際規格における引用規格：ISO 5459, Geometrical product specifications (GPS)—Geometrical tolerancing—Datums and datum systems